



## 平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月3日

上場会社名 株式会社サンエー 上場取引所 東  
 コード番号 2659 URL http://www.san-a.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上地 哲誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 今中 泰洋 TEL 098(898)2230  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	83,367	5.0	6,712	15.4	6,868	15.2	3,901	9.4
26年2月期第2四半期	79,373	6.0	5,814	11.3	5,962	11.2	3,566	15.5

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 4,118百万円 (8.6%) 26年2月期第2四半期 3,792百万円 (16.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	122.05	—
26年2月期第2四半期	111.58	—

(注) 当社は、平成25年9月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第2四半期	119,173	82,835	67.6	2,522.26
26年2月期	104,401	79,881	74.3	2,427.32

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 80,620百万円 26年2月期 77,585百万円

(注) 当社は、平成25年9月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	28.00	28.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	159,425	1.2	11,181	1.9	11,410	1.5	6,621	4.1	207.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期2Q	31,981,654株	26年2月期	31,981,654株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	18,036株	26年2月期	17,990株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期2Q	31,963,645株	26年2月期2Q	31,963,693株

(注) 当社は、平成25年9月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成26年10月15日（水）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年8月31日）におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策によって企業収益や雇用情勢に改善等が見られ、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社は経営方針を「実行力」とし、「気づいたこと、学んだこと、考えたことは実行してこそ目的を達す。」と考え、実行力を高めるとともに、引き続き企業理念の浸透、七大基本の徹底、既存店の活性化、効率化を図るとともに商品力の強化、効率的な情報システム開発、人材力の強化を行い、お客様満足度の向上に努めてまいりました。

店舗展開につきましては、4月に「V21食品館佐真下店」（沖縄県宜野湾市）を新規出店、「V21食品館きょうはら店」（沖縄県那覇市）を改装し「マツモトキヨシきょうはら店」を出店いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益（売上高及び営業収入）は833億67百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は67億12百万円（前年同期比15.4%増）、経常利益は68億68百万円（前年同期比15.2%増）、四半期純利益は39億1百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して147億71百万円増加し、1,191億73百万円となりました。主な要因は、当第2四半期連結会計期間末が金融機関の休日となり、仕入債務等88億90百万円の支払いが翌月に繰越されたこと等により現金及び預金が147億30百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して118億17百万円増加し、363億37百万円となりました。主な要因は、当第2四半期連結会計期間末が金融機関の休日となり、仕入債務等の支払いが翌月に繰越されたこと等により買掛金が85億20百万円、預り金が13億84百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して29億54百万円増加し、828億35百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が30億6百万円増加したことによるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より147億30百万円増加し、446億44百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得た資金は172億60百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益66億61百万円の計上と当第2四半期連結会計期間末が金融機関の休日となり、仕入債務等88億90百万円の支払が翌月に繰越されたこと等により、仕入債務85億20百万円、預り金13億84百万円増加したことによるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は10億74百万円（前年同期比43.0%減）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出9億3百万円であります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は14億55百万円（前年同期比47.2%増）となりました。

主な要因は、配当金の支払額8億93百万円、少数株主への配当金の支払額2億69百万円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月7日付の平成26年2月期決算短信で発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,913	44,644
売掛金	1,499	2,228
商品及び製品	9,400	9,104
原材料及び貯蔵品	216	198
その他	2,307	2,349
流動資産合計	43,337	58,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,042	21,606
土地	25,913	26,086
その他（純額）	2,705	2,219
有形固定資産合計	50,660	49,912
無形固定資産		
のれん	942	860
その他	286	585
無形固定資産合計	1,229	1,445
投資その他の資産	9,174	9,289
固定資産合計	61,064	60,647
資産合計	104,401	119,173
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,331	15,852
1年内返済予定の長期借入金	421	368
未払法人税等	2,286	2,784
賞与引当金	934	1,494
商品券等回収損失引当金	25	22
その他	7,722	10,132
流動負債合計	18,721	30,653
固定負債		
長期借入金	699	542
退職給付引当金	1,759	1,817
資産除去債務	373	379
その他	2,965	2,943
固定負債合計	5,798	5,683
負債合計	24,519	36,337

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,723	3,723
資本剰余金	3,686	3,686
利益剰余金	70,087	73,094
自己株式	△25	△25
株主資本合計	77,471	80,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	114	142
その他の包括利益累計額合計	114	142
少数株主持分	2,295	2,215
純資産合計	79,881	82,835
負債純資産合計	104,401	119,173

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年3月1日 至平成25年8月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年3月1日 至平成26年8月31日）
売上高	75,132	78,774
売上原価	52,130	54,373
売上総利益	23,002	24,400
営業収入	4,240	4,592
営業総利益	27,243	28,993
販売費及び一般管理費		
給料	7,030	7,227
賞与引当金繰入額	1,369	1,494
退職給付費用	145	147
減価償却費	1,589	1,487
のれん償却額	81	81
その他	11,210	11,843
販売費及び一般管理費合計	21,428	22,281
営業利益	5,814	6,712
営業外収益		
受取利息	26	33
受取配当金	27	21
債務勘定整理益	29	37
その他	86	84
営業外収益合計	169	177
営業外費用		
支払利息	11	7
商品券等回収損失引当金繰入額	7	7
その他	3	6
営業外費用合計	21	21
経常利益	5,962	6,868
特別利益		
固定資産売却益	6	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
固定資産除却損	7	6
減損損失	—	200
特別損失合計	7	206
税金等調整前四半期純利益	5,961	6,661
法人税、住民税及び事業税	2,350	2,770
法人税等調整額	△179	△200
法人税等合計	2,170	2,570
少数株主損益調整前四半期純利益	3,790	4,090
少数株主利益	224	189
四半期純利益	3,566	3,901

（四半期連結包括利益計算書）  
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,790	4,090
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	28
その他の包括利益合計	1	28
四半期包括利益	3,792	4,118
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,568	3,929
少数株主に係る四半期包括利益	224	189



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,961	6,661
減価償却費	1,589	1,487
のれん償却額	81	81
固定資産除却損	7	6
減損損失	—	200
賞与引当金の増減額(△は減少)	456	560
受取利息及び受取配当金	△53	△54
支払利息	11	7
売上債権の増減額(△は増加)	△824	△728
たな卸資産の増減額(△は増加)	132	313
仕入債務の増減額(△は減少)	8,439	8,520
未払金の増減額(△は減少)	988	591
預り金の増減額(△は減少)	1,348	1,384
その他	356	504
小計	18,494	19,536
法人税等の支払額	△1,875	△2,275
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,618	17,260
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,935	△903
利息及び配当金の受取額	43	49
その他	4	△221
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,886	△1,074
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△317	△210
利息の支払額	△12	△7
リース債務の返済による支出	△86	△73
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△796	△893
少数株主への配当金の支払額	△274	△269
財務活動によるキャッシュ・フロー	△988	△1,455
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,743	14,730
現金及び現金同等物の期首残高	22,049	29,913
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,793	44,644

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。